

# こんにちは ふるいち順子です

\*私たちのお願い\* このニュースをお読みいただくことが大きな支えになります。ぜひ、読んでいただける方を紹介ください。

発行 古市順子 真田町本原(竹室)2543-3 ☎/FAX 72-3261 メール: [huruitij@ued.janis.or.jp](mailto:huruitij@ued.janis.or.jp) ホームページ <http://www.ued.or.jp/~huruitij/>

NO. 223 2024年11月号



毎年、この時期に咲くノコンギク(野紺菊)山野にふつうに見られる多年草です。茎はよく枝分かれし、花を多くつけます。



相談事は、お気軽  
にご連絡下さい

11月、冬の準備が急がれる頃となりました。

10月27日投開票の総選挙、ご支援いただいた皆さん、ありがとうございました。自公が過半数割れし、裏金政治、暮らしの破壊、大軍拡等の自民党政治に国民の厳しい審判が下されたことを心から歓迎します。自民党を追い詰め、大激動をもたらしたのは、間違いなく日本共産党の論戦と「しんぶん赤旗」のスクープでした。特に選挙終盤には、裏金非公認議員への200万円支給をスクープしたことは、大きな貢献となりました。

日本共産党は、比例・北陸信越ブロックで議席奪還のチャンスとして取り組みました。22年の参院比例よりは得票数・率とも伸ばしましたが、藤野やすふみ元衆議院議員の議席奪還は果たせませんでした。いま日本は、政治史の中で大激動の時代を迎えようとしています。国民の中では、自民党政治に代わる政治はどうあるべきか、模索と探求が始まりました。日本共産党は展望と希望のもてる政治にするために、これからもがんばります。引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

上田市では来年度の予算編成作業が始まっています。日本共産党上田市議団では、今年も11/28に来年度の「市政と予算に関する要望書」を市長に提出・懇談予定です。市の今年度最重要課題である水道事業広域化について、市から財政試算等の市民説明会の予定が示されました。市議会内でも本格的な議論が始まります。12月市議会は、11/25開会予定です。(11/1)

## 水道事業広域化について、皆で考えましょう。

日本共産党上田市議団では、10/13 独自に議員向けの研修会を実施しました。上下水道局にも声掛けし、当日は議員12名、職員12名が参加されました。講師は自治労連公営企業評議会事務局長、名古屋上下水道局の現役職員である近藤夏樹さんです。「持続可能な水道事業の再構築…広域化、民営化への対案」という論文があります。

お話を要點は…

1. 水道事業の危機が叫ばれて、20年たつが…
- 2002年水道法改正⇒第3者委託可能へ
- 2018年水道法改正⇒コンセッション方式導入可能へ【コンセッション方式導入計画は奈良市など住民運動によってすべて阻止され、国は広域化を先行させる方向とした。民営化のハードルである地方議会の関与をなくす戦略】
3. 技術者不足は、公務労働の市場化によって起きた。
4. 広域化は、水を商品として扱う民営化へのプロセスだが… その対案は？⇒公公連携(中核的自治体を守りつつ、周辺自治体を支えていく。災害時対応も) 税の投入も必要
5. 対案は間に合わないが、広域化に行ってしまっていいのか？⇒上下水道事業を失うと地域の雇用、産業も同時に失う。水源を失うと水の自治を失う。一度広域化に舵をきれば、自らの水道資産を譲渡してしまうこととなり、取り戻すことは難しいだろう。

## 市民説明会の日程

なるべくご参加いただき、ご意見をお寄せ下さい。

月 日	時 間	会 場
12月5日 (木)	午後7時	城南公民館
12月6日 (金)	午後7時	武石公民館
12月8日 (日)	午後2時	塩田公民館
12月11日(水)	午後7時	川西公民館
12月13日(金)	午後7時	西部公民館
12月18日(水)	午後7時	真田中央公民館
12月19日(木)	午後7時	上野が丘公民館
12月22日(日)	午前10時	丸子文化会館
12月22日(日)	午後2時	中央公民館

## 今年6月上田市議会、古市の一般質問より

上田市の水道事業は1923年に通水を開始してから昨年100年を迎ました。先人たちのたゆまぬ努力と知恵に支えられ、地域特性を生かした水道システムが構築されています。それを今後100年続けていくにはどうしたらいいのか。大変重要な局面となっています。目の誘導策で、100年の計を誤ってはならないと思います。将来に禍根を残さない賢明な判断が、市長にも議会にも求められています。

10月17日、総選挙の

応援に、井上さとし参院議員(真ん中)が駆け付けてくれました。右は前上田市議の渡辺正博さん



## 上田地域広域連合議会が開かれました(10/22・24)

上田地域広域連合は、上田市、東御市、長和町、青木村、坂城町で構成され、事務局は丸子地域自治センター内にあります。業務は、常備消防、広域的な観光振興、ごみ処理広域化、クリーンセンター(上田、丸子、東部)、清浄園、大星・依田窪斎場、上田創造館、地域医療対策、介護保険認定事業等です。

議会は毎年ほぼ2回開かれ、10月は主に昨年の決算認定、2月は主に来年度予算審査です。一般質問も各市町村持ち回りで行われます。委員会は、保健福祉委員会と総務委員会があります。議員は、各市町村議会から定数により選出されます。上田市は各会派の規模により、合計13名です。私は保健福祉委員会の審査に出席しました。

### 令和5年度の主な事業、監査委員の意見、委員会質疑等

#### ○医療対策事業

・ふるさと基金を活用し信州上田医療センター従事者確保事業を実施(医師数5年度4月87人⇒6年度4月93人)  
・基金残高が年々減少している中、将来的なビジョンを明確にし、基金の有効活用を図られたい。⇒令和9年度から医療関係事業は実施できなくなる。来年度にかけて検討していく。

#### ○介護保険事業

・介護認定審査会は、12合議体で270回開催し、審査件数は9291件(前年度比88件減)  
・現在、介護認定の申請から認定までに要している期間は平均で44日であるが、期間短縮など事務事業の改善に取り組まれたい。⇒標準仕様に適合した要介護認定支援システムを令和7年5月の導入に向け取り組んでいく。

#### ○資源循環型施設建設の取組状況

・環境影響評価は4つある手続きのうち3つ目の準備書の手続きが概ね完了し、最後の評価書の準備を進め、来年1月の手続き完了に向けて取り組んでいる。土屋連合長は、完了を目指すに、清浄園を建設地として決定したい方針。

### 前号からの活動報告

- 10/19 第3回勉強会・おいしい水の願い  
10/20 東御市議選出発式 支援  
10/21 議会報告会動画収録  
10/22 上田地域広域連合議会  
10/24 上田地域広域連合議会  
10/26 東御市議選 支援  
10/28 上田市東御市真田共有財産組合議会

### これから予定(11/1現在)

- 11/5 環境建設委と西部地区環境を守る会との懇談会  
11/6 女と男市民の会と会員市議との情報懇談会  
11/6 有機物リサイクル施設説明会【真田中央公民館】  
11/7 上田市戦没者追悼式【上田創造館】  
11/8 議員クラブ会の行事(ボッチャ)  
11/10 長野県母親大会【諏訪市】  
11/11 上田駅前宣伝  
11/11 上田市議会 会派代表者会  
11/11 上小・東御生活と健康を守る会理事会  
11/13 党全県議員会議【松本市】  
11/16 生活と健康を守る会 昼食交流会  
11/19 国民健康保険改善運動交流会【長野市】  
11/22 真田中生を語る会  
11/23~24 さなだの郷野沢菜まつり(竹室活性化組合)  
11/24 長野県生活と健康を守る会総会【松本市】

## 我が家の中庭だより

10月は、初めて運転免許証更新のための「高齢者講習」を受けました。更新日の半年前に通知はきていましたが、まだいいかと思っていて、ぎりぎりになつてしましました。18歳の頃通った、伯父が創業した自動車学校で、入口に胸像があり懐かしく思いました。運転講習では指導員から「時停止が不停止で、スピードは落とすが、きちんと止まつていな。」と指摘されました。交通違反になるので、気をつけねばと思います。

10月は玉ねぎの苗を植える時期で、初旬にJAファームに苗があつたので買っておきましたが、急な選挙で忙しく、息子たちが、ニンニクも用意して植えてくれました。

この頃畑を見回ると、白菜は虫に食われている物もありましたが、大分巻いてきました。キャベツは食べられる物があるかどうか…。大根も育つてきて、混んでいるところは抜いてきましたが、大きな大根になるか心配の物も多いです。小さいのは毎年漬物にしているので、まあ、いいか。」と思っていました。

この花壇を見回ると、白菜は虫に食われている物もありましたが、大分巻いてきました。キャベツは食べられる物があるかどうか…。大根も育つてきて、混んでいるところは抜いてきました。白菜は、一株掘つてみましたが、土寄せを真面目にしたせいか、去年よりはよくできていました。

夏野菜は少し前まで、ナスと後で蒔いたきゅうり、オクラが少し採れていますが終わりです。ピーマンだけがまだ小さくつけています。霜が降りるまでいいようです。カボチャは実生の物も含めて結構採れましたが、草に隠れていて、草刈りで傷つけた物を、煮物、サラダ、スープなどにしています。朝冷え込むようになり、薪ストーブを焚き始めました。焚きつけは面倒ですが、赤い炎は心なごみます。

